

## 6 人権尊重の精神に徹した人権・同和教育

学校(園)における推進体制を確立するとともに、人権・同和教育を教育計画に位置付けた上で、各教科、道徳科、特別活動、総合的な学習の時間等の特質を生かしながら、教育活動全体を通して人権・同和教育を推進する。

### 指導内容や方法の工夫、改善

- ◇人権問題を主体的に解決する実践力を育成する。
  - ・「人権教育の指導方法等の在り方について〔第三次とりまとめ〕」の積極的な活用
  - ・人権に関する知的理解の深化と人権感覚の育成の両立を目指す年間指導計画の作成
  - ・人権感覚の育成に効果的な参加体験型学習の推進

### 自尊感情の育成と仲間づくりの推進

- ◇人権が尊重されている教育の場としての学校・学級の基礎を培う観点に立った自尊感情の育成と仲間づくりの充実を図る。
  - ・自己をかけがえのない存在として認識できる指導の充実
  - ・人権が尊重され、安心して学ぶことのできる環境づくりの工夫
  - ・互いに認め合い、高め合うことのできる仲間づくりの推進

### 課題のある幼児児童生徒への支援

- ◇課題のある幼児児童生徒個々の自己実現に向けた支援を行う。
  - ・支援の必要な児童生徒に視点を置いた分かる授業の実践と個に応じた学習支援の充実
  - ・課題の背景にある要因の多面的な分析とそれに基づいた全教職員による一体的な指導の推進
  - ・将来の夢や希望を育むための体験的な取組の充実

### 教職員研修の充実と評価の実施

- ◇校(園)長のリーダーシップのもと、一体となって取り組む体制を確立する。
  - ・全教職員の人権感覚を高める校内研修の工夫
  - ・「人権・同和教育教職員ハンドブック」、「人権・同和問題学習教職員リーフレット」等を活用した研修や校(園)外での研修の推進
  - ・人権・同和教育推進状況調査の結果等を活用した諸活動の見直し

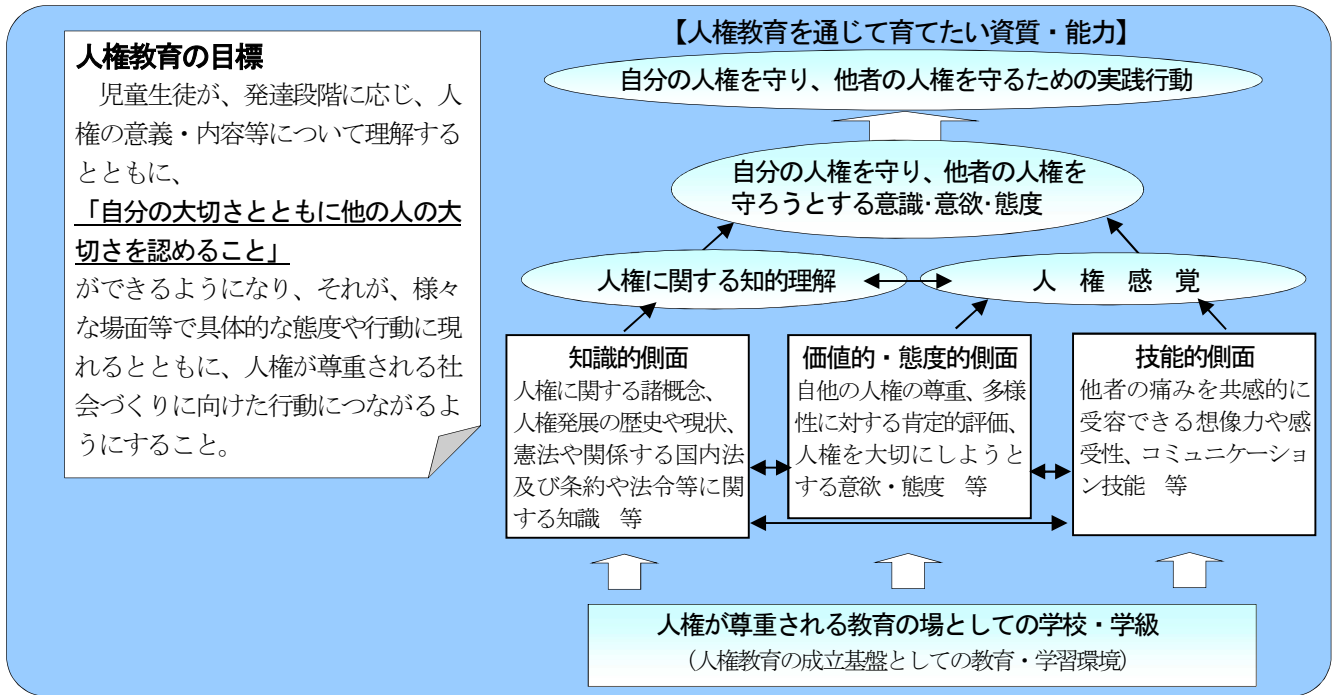
### 家庭・地域、関係機関及び学校(園)間の連携の強化

- ◇心豊かでたくましい幼児児童生徒を共に育てる環境をつくる。
  - ・長期的な展望に立った家庭、地域、関係諸機関との連携強化
  - ・幼児児童生徒の実態を踏まえた学校(園)間の連携強化
  - ・人権に関する授業や人権集会等の積極的な公開と地域人材の活用

### ■主な事業

- 人権・同和教育若年教職員パワーアップ研修事業
  - ・採用されて15年以内の若年教職員を対象に、当事者による講話や授業力向上のためのワークショップ、同和問題学習に特化した模擬授業の実践等を通して、人権・同和教育の指導力向上を図る。  
令和5年度 7月28日(金)、8月2日(水)、8月24日(木)、12月26日(火)
- 人権・同和教育出前講座事業
  - ・学校(園)や市町に対して、人権・同和教育課の職員を派遣し、研修会等の指導及び助言、講話・講演等を通じて、人権・同和教育の推進を図る。
- 人権・同和教育指導資料作成事業
  - ・授業で活用できる読み物資料とその展開例を作成・提供し、人権・同和教育の推進を図る。  
人権・同和教育指導資料(中学校編)平成31年3月改訂  
人権・同和教育指導資料(小学校編)令和2年3月改訂
- 人権・同和教育視聴覚教材(DVD・ビデオ)購入・貸出
  - ・人権・同和教育に関するものを購入し、学校や市町(学校組合)教育委員会へ貸し出し、教育・啓発に利用する。

I 学校教育における人権教育の改善・充実の基本的考え方 ⇒「指導等の在り方編」p4～

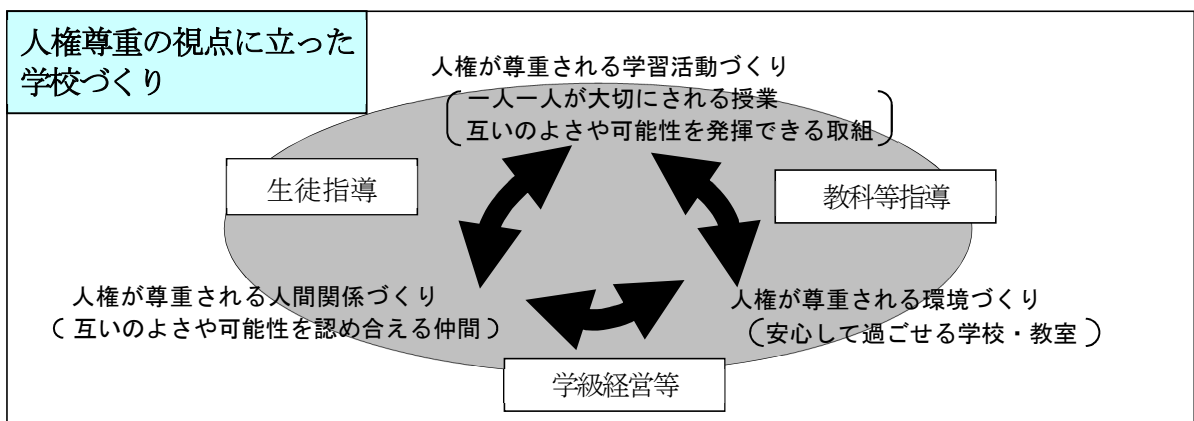


【参考1】 隠れたカリキュラム ⇒「指導等の在り方編」p9

児童生徒の人権感覚の育成には、体系的に整備された正規の教育課程と並び、いわゆる「隠れたカリキュラム」が重要であるとの指摘があります。「隠れたカリキュラム」とは、教育する側が意図する、しないに関わらず、学校生活を営む中で、児童生徒自らが学びとっていく全ての事柄を指すものであり、学校・学級の「隠れたカリキュラム」を構成するのは、それらの場の在り方であり、雰囲気といったものです。

例えば、「いじめ」を許さない態度を身に付けるためには、「いじめはよくない」という知的理解だけでは不十分です。実際に、「いじめ」を許さない雰囲気が浸透する学校・学級で生活することを通じて、児童生徒ははじめて「いじめ」を許さない人権感覚を身に付けることができるのです。だからこそ、教職員一体となつての組織づくり、場の雰囲気づくりが重要です。

II 学校の教育活動全体を通じた人権教育の推進 ⇒「指導等の在り方編」p10～



【参考2】 効果のある学校 (effective school) ⇒「指導等の在り方編」p16

今日、「効果のある学校」に関する研究が国内外で進められています。これらの研究では、「教育的に不利な環境の下にある児童生徒の学力水準を押し上げている学校」において、学力の向上と人権感覚の育成とが併せて追求されている点に注目しており、人権感覚の育成は、児童生徒の自主性や社会性などの人格的な発達を促進するばかりでなく、学校の役割の大事な部分を占める学力形成においても成果を上げているとの指摘を行っています。

一人一人の個性やニーズに応じた基礎学力を獲得するためには、学校・学級の中で、現実一人一人の存在や思いが大切にされるといふ状況が成立していなければならないからです。

Ⅲ 人権が尊重される授業づくりの視点例 ⇒「実践編」p3～

視 点	ね ら い	ポイント・留意点
自己存在感を持たせる支援を工夫する	「授業に参加している」という実感を持たせる	○座席の工夫や発問・応答の工夫 等
	「自分が必要とされている」という実感を持たせる	○一人一人が活躍する場の工夫 ○協力して活動できる場の工夫 等
	教師自身が一人一人を大切に示す姿勢を示す	○発言しない児童生徒への適切な支援等
共感的人間関係を育成する支援を工夫する	「自分が受け入れられている」と実感ができる雰囲気をつくる	○互いを尊重し合う人間関係づくり ○自由に発言できる雰囲気づくり 等
	「共に学び合う仲間だ」と実感できる雰囲気をつくる	○他者に学ぼうとする態度の育成 ○異なる意見を理解する技能の育成 等
自己選択・決定の場を工夫して設定する	学習課題や計画を選択する機会を提供する	○学習の見通しをもてる支援 等
	学習内容、学習教材を選択する機会を提供する	○多様な教材・教具の準備 等
	学習方法を選択する機会を提供する	○実態を踏まえた学習方法の提示 等
	表現方法を選択する機会を提供する	○多様な表現方法の提示 等
	学習形態や場を選択する機会を提供する	○学習形態や活動の場を多様に提示 等
	振り返りの方法を選択し、互いの学びを交流する機会を提供する	○学習成果のまとめ方を多様に提示 等

Ⅳ 人権尊重の視点に立った教室環境づくりの視点と取組例 ⇒「実践編」p5～

取 組	内 容
人間関係を深め、安心して生活・学習ができる場づくり	○学級組織（係）ごとのコーナーを設け、学級への願いや要望、よりよい学級生活をつくるための問題提起を行う。 ○学習の成果物（作品等）を掲示する。その際、児童生徒自身の解説や評価（自己評価、他者評価）、教師の評語を添え、達成感や有用感、肯定的なセルフイメージの形成を図る。 等
課題意識を高める場づくり	○問題意識を喚起するような情報を教師が意図的に掲示する。 等
発見の喜びを味わえる場づくり	○児童生徒が集めた情報の中から、喜びや感動、疑問や怒りを感じたことを級友に知らせるコーナーを設置し、帰りの会等で発表させる。 等
創造する喜びを味わえる場づくり	○共同作業をすることのできる作業台（広めの机）を設置したり、筆記具・文房具を常備したりして、自発的・創造的な協働作業を促す。 等

Ⅴ 授業等で配慮したいポイント例（人権尊重の視点から） ⇒「実践編」p81

場 面	内 容
児童生徒の呼名	子どもによって異なる呼び方が不公平感等を与えていないか
座席替えやグループ決め	くじびき、名簿順等で決めたり、児童生徒同士で決めさせたりしていないか
教室での指名	日付順、席順、名簿順、物理的条件等によって指名していないか
机間(個別)指導	机間指導の仕方に偏りがいないか
児童生徒の言動等に対する改善点の指摘	特定の児童生徒への改善点の指摘を、他の児童生徒に求めているか
時間配分・進行管理等の判断	教員自らの判断を曖昧にしていないか

■関連資料

○ 教育基本計画指標（人権・同和教育推進状況調査）

指 標	現 状	令和7年度の目標
人権・同和教育教職員ハンドブックを活用して校内研修を行った学校の割合	65.9%	100%

○人権教育の指導方法等の在り方について[第三次とりまとめ]（平成20年3月 人権教育の指導方法等に関する調査研究会議）

[https://www.next.go.jp/b\\_menu/shingi/chousa/shotou/024/report/08041404.htm](https://www.next.go.jp/b_menu/shingi/chousa/shotou/024/report/08041404.htm)

(指導の在り方編)

(実践編)



○県教育委員会作成資料（香川県教育委員会事務局人権・同和教育課HPより）

◆人権・同和教育教職員ハンドブック「みんなですすめる人権・同和教育」



◆人権・同和教育問題学習教職員リーフレット「『人権意識を学ぶ』授業から『実践行動を学ぶ』授業へ」

<https://www.pref.kagawa.lg.jp/kenkyoui/dowakyoiku/syokai/organization/kfvn.html>

